MASPRO

屋外(内)用 ブースター (家庭用)

取扱説明書

VU BOOSTER
増幅チャンネル FM・ch1~62
VUB33E

UHF BOOSTER
増幅チャンネル ch13~62 (VHFミキサー内蔵)
UB33E

DC15V方式

33dB型

直付けビス止め端子

UHF多チャンネル受信に最適なハイパワーブースターです。

VUB33E
増幅部

75Ωケーブルの太さに合わせて切ってください。

端子カバーは後ろへ押して開けてください。

VUB33E
電源部

MASter of PROduction 生産の覇者

VUB33E

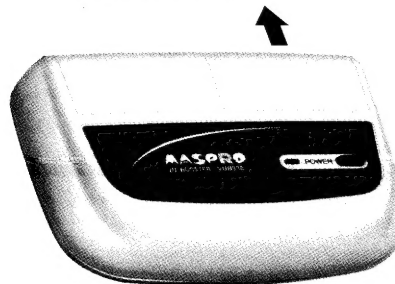
FM・VHF・UHF帯域を増幅します。

UB33E

UHF帯域を増幅します。FM・VHF帯域は通過します。

高性能・高信頼

余裕のある高出力

UHFは103dBμ(7波)の出力レベルが得られますから、受信波数の多い地域で使用しても、障害のないきれいな画像で受信できます。

過電流保護回路

増幅部と電源部の間でショートなどの異常が発生しても、過電流保護回路によって、電源部を保護します。

優れた機能

VU混合・別入力両用

VU混合入力・別入力に切換えできますから、ミキサー内蔵アンテナやVUミキサーを使用したVU混合入力のときでも使用できます。

FMカットスイッチ (VUB33E)

FMの帯域をスイッチで「増幅」または「カット」することができますから、FM電波の強い地域でもテレビの受信障害はありません。

フタはネジ止め式

増幅部のフタはネジ止め式ですから、しっかりと固定できます。

●ご使用の前に、この「取扱説明書」と「安全上のご注意」「ブースター使用上のご注意」をよくお読みください。
●お読みになったあとは、保存してください。

各アンテナからのケーブルとブースター（増幅部）は，間違えないように，正しく接続してください。

ご注意

各アンテナとブースターの間は1m以上離してください。
各アンテナが接近しすぎると，アンテナの性能が劣化します。
また，アンテナとブースター（増幅部）が接近しすぎると，ブースターが発振して，受信障害になることがあります。

ご注意

- 利得を調整するときは，調整用ドライバーを使用してください。無理に回すとこわれることがあります。
- スイッチは軽く操作してください。力を入れすぎるとこわれることがあります。

VUB33E

V･U別入力の場合　VU混合入力の場合

UHF　UHF　VHF　VHF（ミキサー内蔵アンテナ）　1m以上　1m以上

75Ωケーブル　75Ωケーブル　75Ωケーブル

増幅部

壁面取付用木ネジ（2本）

VU入力切換（出荷時はV･U別入力になっています）

VU混合入力の場合：UHF　VHF　VUミキサー　VU混合入力

V･U別入力の場合：UHF　VHF　V･U別入力

FMカット　VUB33Eだけにあります。（出荷時はFM増幅になっています）

FMカットの場合	FM増幅の場合
FM電波が強い地域	FM電波が弱い地域
FMカット	FM増幅

利得調整

FM･V（ch1～12）
U（ch13～62）

- 出荷時は最小（左へいっぱい回した状態）になっています。
- 出力レベルを0～⊖10dB連続にして調整できます。
- レベルチェッカーなどを使用して，定格出力レベル以下になるように設定してください。

伝送波数によって定格出力レベルが異なります。

帯域	波数	定格出力レベル
UHF	2波	111dBμ
	7波	103dBμ

伝送波数が増えた場合，出力レベルを再調整してください。

増幅部からTVまでは75Ωケーブル（5CFVA）で**100**m位が限度です。ケーブルが長すぎると，増幅部に供給される電源電圧が低下して正常に作動しなくなることがあります。

Ⓐ **VU混合入力端子またはUHF入力端子**
VU混合入力のケーブルまたはUHFアンテナからのケーブルを接続します。

Ⓑ **VHF入力端子**
VHFアンテナからのケーブルを接続します。VU混合入力のときは，使用しませんから，付属の防水キャップ（小）を取付けてください。

Ⓒ **出力端子**
電源部の入力端子Ⓓからのケーブルを接続します。

Ⓓ **入力端子（ブースターへ）**
増幅部の出力端子Ⓒへのケーブルを接続します。

Ⓔ **TV出力端子（テレビへ）**
TVへのケーブルを接続します。

75Ωケーブル　DC15V　VU

電源スイッチ　電源表示灯

電源部

AC100V

ACプラグ（AC100V）は，取付工事がすべて終了してからACコンセントに接続してください。

TV　75Ωケーブル

端子カバー

UB33E

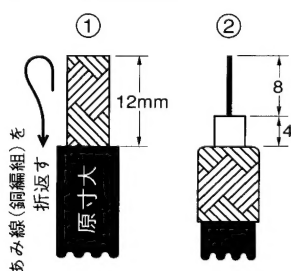
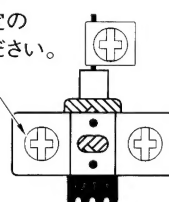
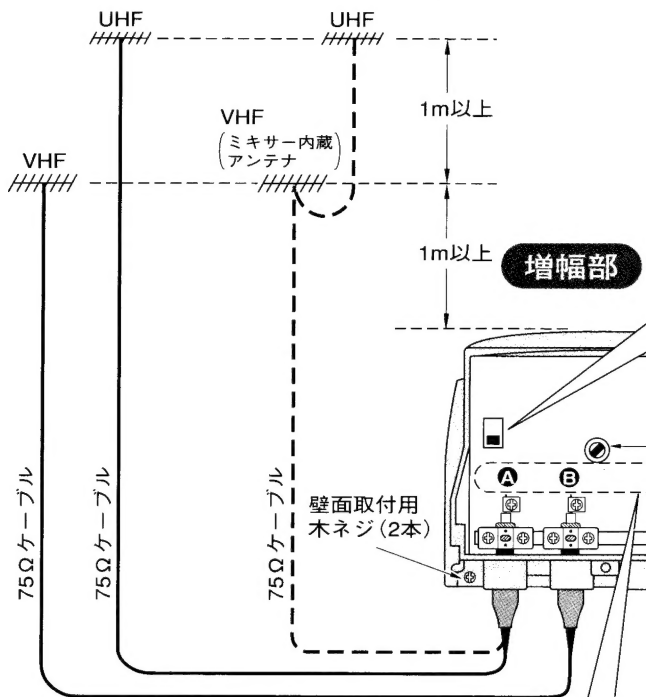
(V･U別入力の場合) (VU混合入力の場合)

UHF　UHF　VHF（ミキサー内蔵アンテナ）　VHF　1m以上　1m以上

増幅部

75Ωケーブル　75Ωケーブル　75Ωケーブル

壁面取付用木ネジ（2本）

電源部へ

Ⓐ VU混合入力端子またはUHFの入力端子
VU混合入力のケーブルまたはUHFアンテナからのケーブルを接続します。

Ⓑ VHF入力端子
VHFアンテナからのケーブルを接続します。VU混合入力のときは使用しませんから，付属の防水キャップ(小)を取付けてください。

Ⓒ 出力端子
電源部の入力端子へのケーブルを接続します。

電源部とTVの接続は，p.2の **電源部** をご覧ください。

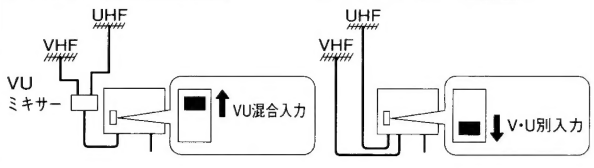
ご注意

- 利得を調整するときは，調整用ドライバーを使用してください。無理に回すとこわれることがあります。
- スイッチは軽く操作してください。力を入れすぎるとこわれることがあります。

VU入力切換

（出荷時はV･U別入力になっています）

(VU混合入力の場合)　UHF　VHF　VUミキサー　VU混合入力

(V･U別入力の場合)　UHF　VHF　V･U別入力

利得調整

UHF（ch13〜62）

- 出荷時は最小(㊧)へいっぱい回した状態になっています。
- 出力レベルを0〜⊖10dB連続して調整できます。
- レベルチェッカーなどを使用して，定格出力レベル以下になるように設定してください。

伝送波数によって定格出力レベルが異なります。

帯域	波数	定格出力レベル
UHF	2波	111dBμ
	7波	103dBμ

伝送波数が増えた場合，出力レベルを再調整してください。

使用例

(4端子の場合)

UHF　VHF　ブースター（増幅部） **VUB33EまたはUB33E**

DC15V

電源挿入型テレビ端子からのケーブルは，必ず電流通過端子に接続してください。

4分配器 **4SPF**

DC15V

テレビ端子（電源挿入型） **DFMTD**　**DFMT**　**DFMT**　テレビ端子 **DFMT**

赤い端子　ブースター（電源部）　AC100V　DC15V　TV

(6端子の場合)

UHF　VHF　ブースター（増幅部） **VUB33EまたはUB33E**

DC15V

2分岐器 **2DC10F**

テレビ端子 **DFMT**　**DFMT**

2分岐器 **2DC10F**　DC15V

DFMT　**DFMT**

2分配器 **2SPF**　DC15V

テレビ端子（電源挿入型） **DFMTD**　**DFMT**

DC15V

赤い端子

電源挿入型テレビ端子からのケーブルは，必ず電流通過端子に接続してください。

ブースター（電源部）　AC100V　DC15V　TV

取付方法

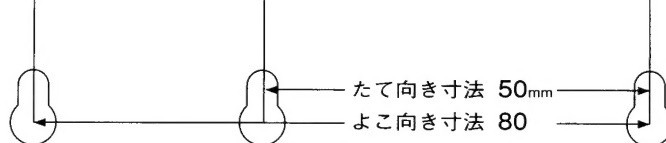
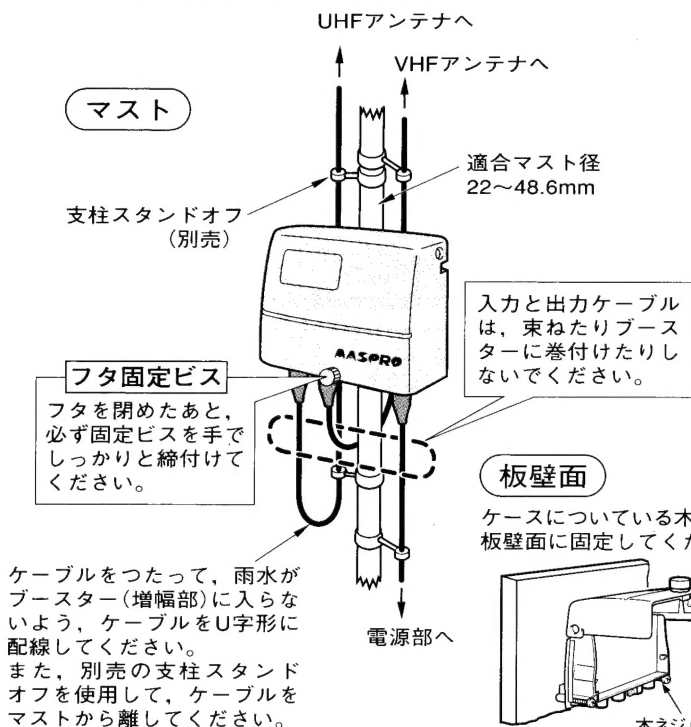
増幅部

ケースのフタを完全に閉めてください。

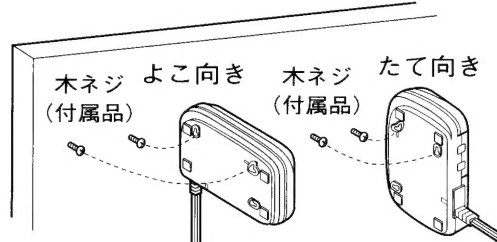
板壁面

ケースについている木ネジで，板壁面に固定してください。

木ネジ（2本）

たて向き寸法 50mm
よこ向き寸法 80

電源部の壁面取付寸法（原寸）

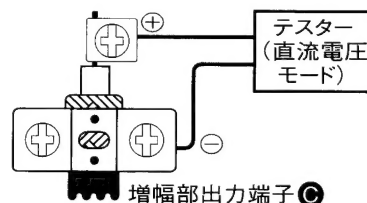
電源部

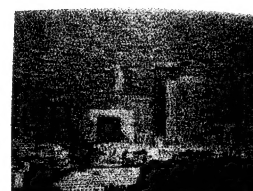
板壁面にも取付けることができます。

ご注意

- 電源部をAMラジオの近くに置くと，ラジオに雑音が入ることがあります。できるだけ，ラジオと電源部を離した状態でお使いください。
- 電源部は，温度上昇を防ぐため，風通しのよい場所に設置してください。また，長期間ご使用にならないときは，ACプラグをACコンセントから抜いてください。

よい画質が得られないときは

- 各アンテナからのケーブルが，それぞれの入力端子に正しく接続してあることを，もう一度確認してください。
- 電源部の電源表示灯は点灯していますか。
  入力端子Ⓓ側がショートしていると過電流保護回路が作動して，電源表示灯が消えます。電源スイッチを「OFF」にして，原因を取除いてから，再度「ON」にしてください。
- ブースターに，DC14～15Vが供給されているか確認してください。増幅部の出力端子Ⓒにテスターを接続して確認してください。

⊕
テスター
（直流電圧モード）
⊖
増幅部出力端子Ⓒ

画像が出ない場合，著しくスノーノイズが出る場合

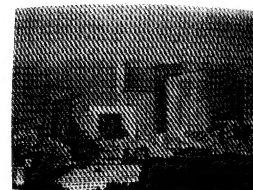
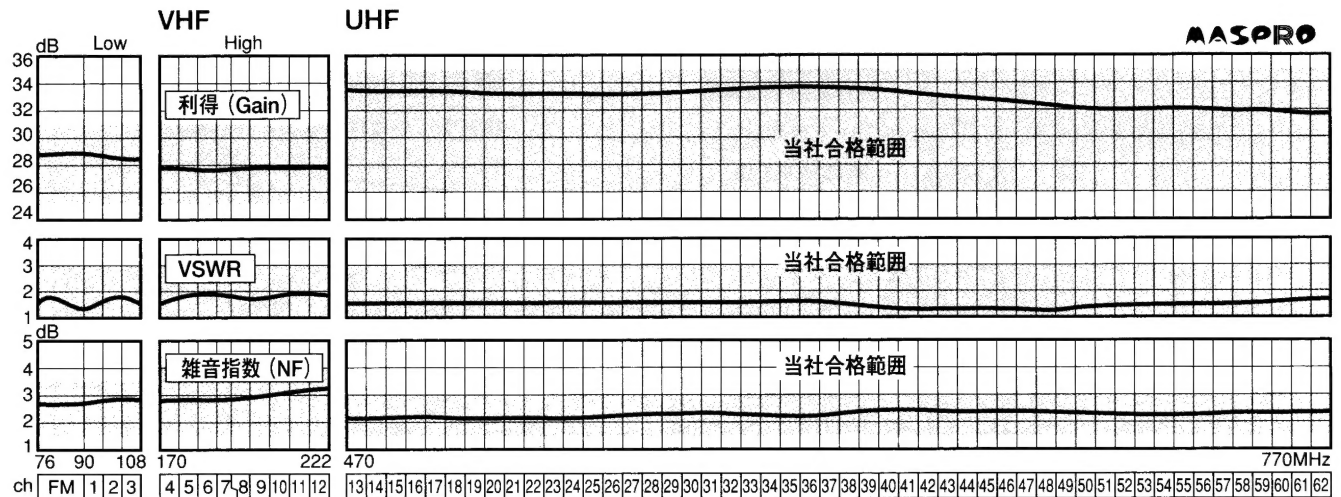
- 増幅部の出力端子ⒸにDC14～15Vがきているか確認してください。
- ケーブルが断線またはショートしていませんか。
- VU入力切換スイッチが正しく操作してありますか。

スノーノイズ

画面にビート縞・ワイパー現象が出る場合

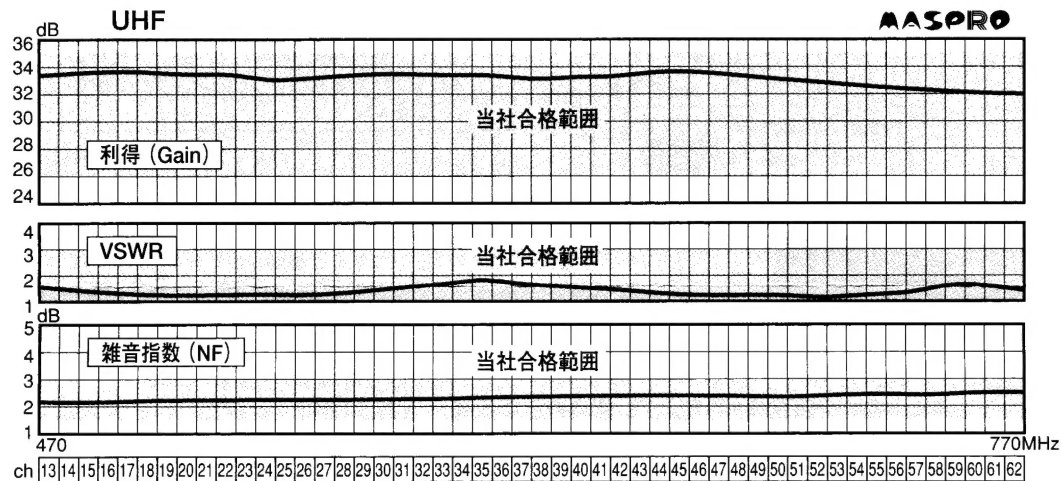
- 他の電波と混信していないか確認してください。（外部からの混信電波を止める以外に方法はありません）画質が最も良くなるように，各アンテナの方向を調整してください。
- ch1～3の画面に障害が出るときは，FMカットスイッチを「FMカット」へ切換えてください。（**VUB33E**）
- VHFの入力レベルが69～79dBμの場合，利得調整ツマミを㊧へゆっくり回し，入力レベルを下げてください。（**VUB33E**）
- VHFの入力レベルが79dBμ以上，UHFの入力レベルが86dBμ以上の場合，障害のある帯域（VHFまたはUHF）の入力端子に，別売のアッテネーター**ATT6, 10, 15, 20KFD**を接続してレベルを下げてください。

ビート縞

ワイパー現象

周波数特性 Frequency Characteristics

VUB33E

波形は、実測値の一例をそのまま記載したもので、作図はしてありません。

UB33E

波形は、実測値の一例をそのまま記載したもので、作図はしてありません。

マスプロの性能表に絶対うそはありません。
ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

ブースターは，正しくお使いください

ブースターを正しく取付けないと，ブースターが発振して，ご自宅やご近所のTVの映りが悪くなることがあります。

●入力端子・出力端子の配線は，取扱説明書にしたがって，正しく接続してください。
●入力と出力のケーブルは，束ねたりブースターに巻付けたりしないでください。
●アンテナマストに取付ける場合，VHF・UHFアンテナとブースター（増幅部）の間隔を1m以上離してください。

詳しくは，別紙「ブースター使用上のご注意」をお読みください。

規格表 Specifications

VUB33E

増幅部

MASPRO

項目 Items	規格		
伝送周波数帯域 Frequency Range	76〜108MHz (FM・ch1〜3)	170〜222MHz (ch4〜12)	470〜770MHz (ch13〜62)
利得 Gain	25〜31dB		26〜35dB
利得偏差(P/V) Gain Response Flatness	3dB以内		5dB以内
利得調整範囲 Gain Control Range	0〜⊖10dB以上(連続可変)		0〜⊖10dB以上 (連続可変)
雑音指数 Noise Figure	1.5〜3.5dB	1.5〜4dB	1.5〜3dB
実用入力レベル※1 Operating Input Level	35.5(がまん限)〜 69dBμ(79dBμ※2)	36(がまん限)〜 69dBμ(79dBμ※2)	35(がまん限)〜 76dBμ(86dBμ※2)
定格出力レベル Rated Output Level	100dBμ(7波)		111dBμ(2波) 103dBμ(7波)
混変調/相互変調 Cross Modulation/Intermodulation	⊖46dB以下/⊖53dB以下		⊖46dB以下/——
VSWR	3以下		
入・出力インピーダンス Input/Output Impedance	75Ω		
電源 Power Requirements	DC15V 0.11A		
使用温度範囲 Temperature Range	⊖20〜⊕40℃		
外観寸法 Dimensions	130(H)×148(W)×64(D)mm		
質量(重量) Weight	約300g		
シンボル Symbol			

実用入力レベルの最小値(がまん限)は、スノーノイズを完全に除去できませんが、実用になる限界です。
※1 VHF(FM・ch1〜12)は7波、UHF(ch13〜62)は2波の値です。
※2 利得を最小(利得調整を㊧へいっぱいに回した状態)にしたときの、最大の実用入力レベルです。

電源部

MASPRO

項目 Items	規格
1次電圧 Primary Voltage	AC100V 50・60Hz
消費電力 Power Consumption	4.9W
直流出力電圧(電流) DC Output Voltage/Current	DC15V(最大 0.11A)
入・出力インピーダンス Input/Output Impedance	75Ω
挿入損失 Insertion Loss	0.2〜2dB
使用温度範囲 Temperature Range	0〜⊕40℃
外観寸法 Dimensions	42(H)x149(W)x98(D)mm
質量(重量) Weight	約370g

マスプロの規格表に絶対うそはありません。
ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

付属品

防水キャップ(大)……………………………3個
〃 (小、VHF入力端子用)…1個
木ネジ(電源部 壁面取付用)……………2本

UB33E

増幅部

MASPRO

項目 Items	規格	
伝送周波数帯域 Frequency Range	76〜222MHz (FM・ch1〜12)	470〜770MHz (ch13〜62)
利得 Gain	——	26〜35dB
通過帯域損失 Insertion Loss	0.5〜1.5dB	——
利得偏差(P/V) Gain Response Flatness	——	5dB以内
利得調整範囲 Gain Control Range	——	0〜⊖10dB以上(連続可変)
雑音指数 Noise Figure	——	1.5〜3dB
実用入力レベル※1 Operating Input Level	——	35(がまん限)〜76dBμ(86dBμ※2)
定格出力レベル Rated Output Level	——	111dBμ(2波) 103dBμ(7波)
混変調 Cross Modulation	——	⊖46dB以下
VSWR	3以下	
入・出力インピーダンス Input/Output Impedance	75Ω	
電源 Power Requirements	DC15V 0.09A	
使用温度範囲 Temperature Range	⊖20〜⊕40℃	
外観寸法 Dimensions	130(H)×148(W)×64(D)mm	
質量(重量) Weight	約290g	
シンボル Symbol		

実用入力レベルの最小値(がまん限)は、スノーノイズを完全に除去できませんが、実用になる限界です。
※1 UHF(ch13〜62)は2波の値です。
※2 利得を最小(利得調整を㊧へいっぱいに回した状態)にしたときの、最大の実用入力レベルです。

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

電源部

MASPRO

項目 Items	規格
1次電圧 Primary Voltage	AC100V 50・60Hz
消費電力 Power Consumption	4.2W
直流出力電圧(電流) DC Output Voltage/Current	DC15V(最大 0.11A)
入・出力インピーダンス Input/Output Impedance	75Ω
挿入損失 Insertion Loss	0.2〜2dB
使用温度範囲 Temperature Range	0〜⊕40℃
外観寸法 Dimensions	42(H)x149(W)x98(D)mm
質量(重量) Weight	約370g

マスプロの規格表に絶対うそはありません。
ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

付属品

防水キャップ(大)……………………………3個
〃 (小、VHF入力端子用)…1個
木ネジ(電源部 壁面取付用)……………2本

意匠登録 第859595号
〃 第933747号

MASter of PROduction 生産の覇者

マルチメディアの
＝マスプロ電工＝
本社〒470-0194(本社専用番号) 愛知県日進市浅田町
営業部 TEL名古屋(052)802−2244
工事営業部 〃 (052)802−2225
技術相談 〃 (052)805−3366
インターネットホームページ www.maspro.co.jp

支店・営業所
沖縄 (098) 854-2768
鹿児島 (099) 812-1200
宮崎 (0985) 25-3877
熊本 (096) 381-7626
長崎 (095) 864-6001
福岡(支) (092) 531-3861
北九州 (093) 941-4026
下関 (0832) 55-1130
徳山 (0834) 32-2954
広島 (082) 230-2351
松江 (0852) 21-5341
岡山 (086) 252-5800
松山 (089) 973-5656
高知 (088) 882-0991
高松 (087) 865-3666
姫路 (0792) 34-6669
神戸 (078) 843-3200
大阪(支) (06) 6635-2222
工事営業部 (06) 6632-1144
京都 (075) 646-3800
津 (059) 234-0261
岐阜 (058) 275-0805
名古屋(支) (052) 802-2233
工事営業部 (052) 804-6262
豊橋 (0532) 33-1500
静岡 (054) 283-2220
松本 (0263) 57-4625
福井 (0776) 23-8153
金沢 (076) 249-5301
新潟 (025) 287-3155
横浜 (045) 784-1422
渋谷(支) (03) 3409-5505
工事営業部 (03) 3499-5631
秋葉原 (03) 3255-7335
青戸 (03) 3695-1811
八王子 (0426) 37-1699
千葉 (043) 232-5335
さいたま (048) 663-8000
前橋 (027) 263-3767
水戸 (029) 248-3870
宇都宮 (028) 660-5008
郡山 (024) 952-0095
仙台 (022) 786-5060
盛岡 (019) 641-1681
秋田 (018) 862-7523
青森 (017) 742-4227
函館 (0138) 53-7355
札幌 (011) 782-0711
釧路 (0154) 23-8466
旭川 (0166) 25-3111
北見 (0157) 61-0480

2K55-512
B-32-4512-1L
FEB., 2003